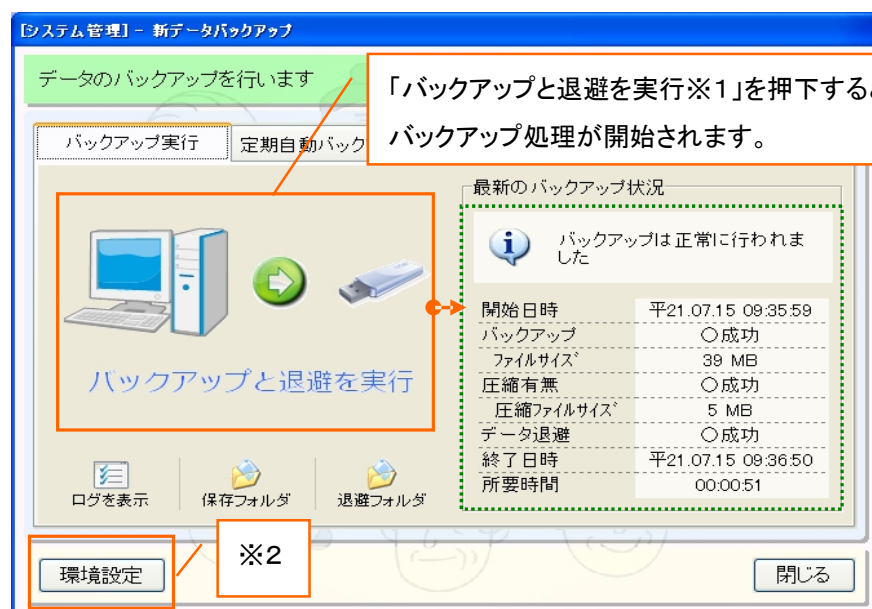


《 データバックアップ(新)に追加された機能 》

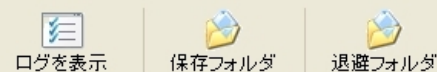
- ①「バックアップと退避を実行」を押下するだけで、バックアップファイルの作成と別媒体への保存が一括で行えます。  
⇒バックアップファイルは自動的に圧縮されます。  
⇒各クライアントからバックアップが実行できるようになりました。ただし、バックアップファイルはサーバーの所定の場所に作成されます。
- ②バックアップファイルの世代管理ができるようになりました。  
⇒バックアップファイルの保存数(変更可)を超えたファイルは古いものから削除されます。
- ③指定した曜日と時間で定期自動バックアップが行えるようになりました。  
⇒定期自動バックアップの設定は複数登録可能です。その為、午前と午後など1日に複数回実行することもできます。
- ④バックアップ状況や警告情報を Quick けあトップメニューよりリアルタイムに確認できるようになりました。  
⇒バックアップ状況や警告を指定した職員に表示することができます。
- ⑤従来のバックアップとは異なり、バックアップ実行中にも Quick けあの操作が可能です。  
⇒ただし、バックアップ中に保存した情報はバックアップされない可能性があります。

★ポイント ①

「バックアップと退避を実行」を押下するだけで、バックアップファイルの作成と別媒体への保存が一括で行えます。



各種ボタンについて



各種ボタンを押下することで、ログ画面や保存フォルダ、退避フォルダを直接開くことができます。

※1 退避とは、作成されたバックアップファイルを USB メモリ等の別媒体へコピー(退避)する作業のことです。

※2 バックアップファイルを出力するフォルダおよび退避先のフォルダの指定は「環境設定」から行えます。

## ★ポイント②

指定した曜日と時間で定期自動バックアップが行えるようになりました。

なお、定期自動バックアップは Quick けあが起動していない状態でも実行されます。

指定曜日と時間に  
定期自動バックアップ  
が行えます。

設定を有効にする場合には、  
チェックを行って下さい

### ※再起動(管理者ログイン時のみ設定可能)について

バックアップが完了した後にシステムの再起動を行なうかどうかを設定します。常時システムを稼働させている場合、定期的にシステムを再起動することでパフォーマンスが低下するのを防ぎます。再起動を行なう場合は深夜など Quick けあの操作を行わない時間帯に行ってください。なお、再起動を行なう時間帯に Quick けあを利用する可能性がある場合は、再起動の時間を操作担当者にご周知ください。

バックアップ後に再起動する

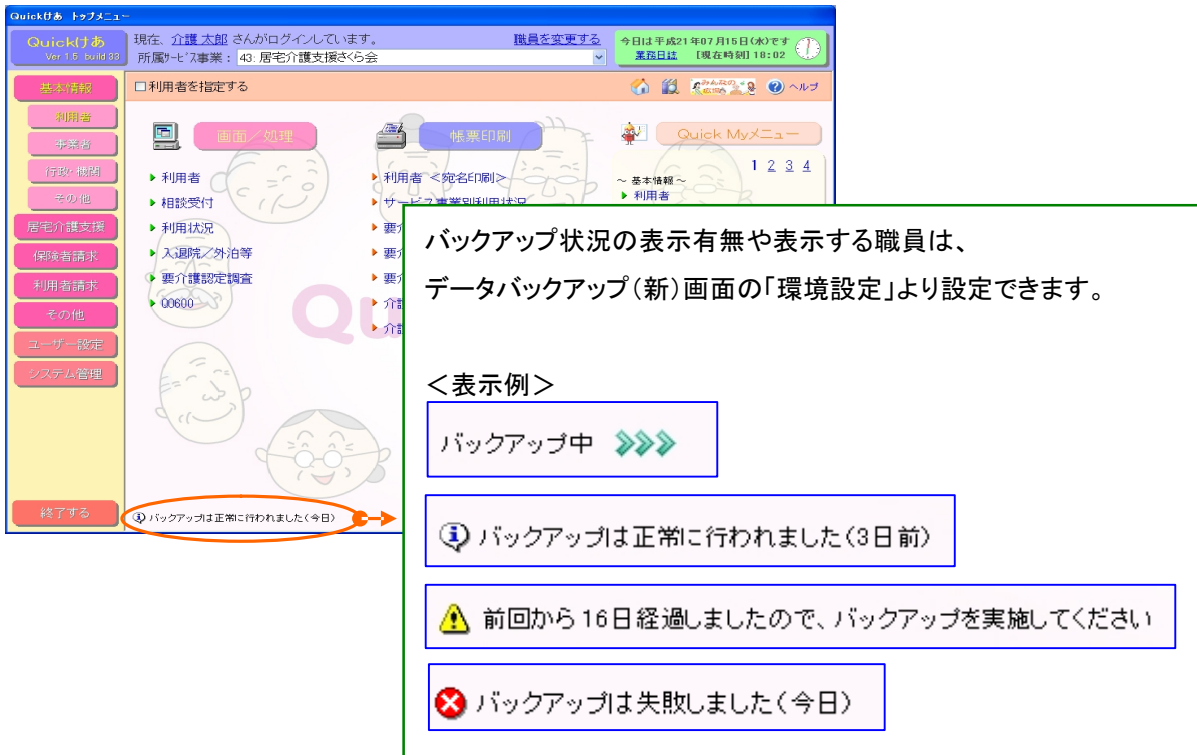
管理者でログインした場合のみ  
設定を行うことができます。

注意事項

- ・管理者のみ変更することができます。
- ・再起動中はシステムをご利用できません。
- ・深夜など利用がない時間帯に設定し、ご利用者に再起動の時間帯を周知してください。

### ★ポイント ③

バックアップ状況や警告情報を Quick けあトップメニューよりリアルタイムに確認できるようになりました。



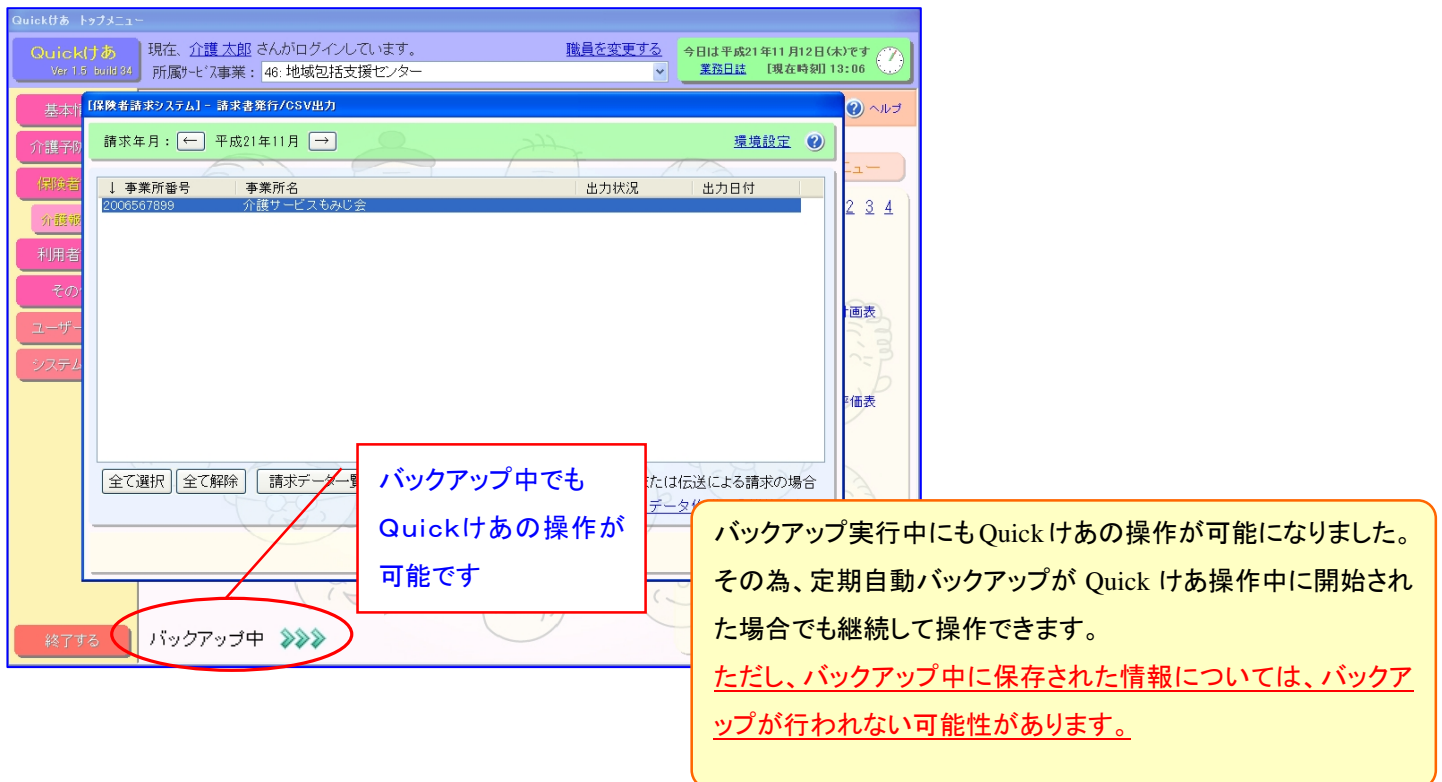
バックアップ状況の表示有無や表示する職員は、データバックアップ(新)画面の「環境設定」より設定できます。

<表示例>

- バックアップ中 >>>>
- バックアップは正常に行われました(3日前)
- 警告アイコン 前回から16日経過しましたので、バックアップを実施してください
- エラーアイコン バックアップは失敗しました(今日)

### ★ポイント ④

従来のバックアップとは異なり、バックアップ実行中にも Quick けあの操作が可能です。

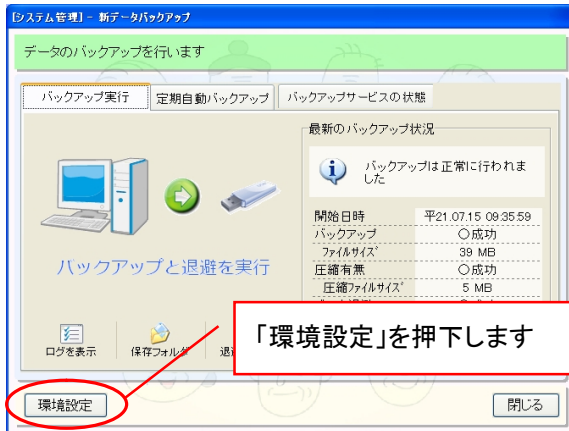


バックアップ中でも Quick けあの操作が可能です

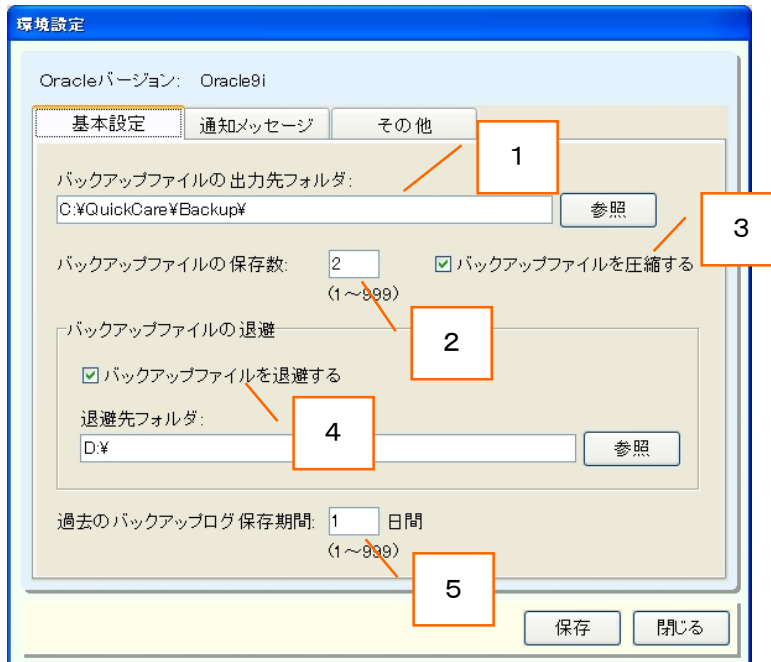
バックアップ実行中にも Quick けあの操作が可能になりました。その為、定期自動バックアップが Quick けあ操作中に開始された場合でも継続して操作できます。  
ただし、バックアップ中に保存された情報については、バックアップが行われない可能性があります。

## 【データバックアップ(新)の環境設定について】

データバックアップ(新)の運用を行う前に、バックアップファイルの出力先や退避先を「環境設定」より設定してください。



## 《 基本設定 》



NO	項目名	説明
1	バックアップファイルの出力先フォルダ	バックアップ実行時に作成されるバックアップファイル出力先のフォルダを指定できます。
2	バックアップファイルの保存数	バックアップおよび退避を行ったバックアップファイルの保存数を指定できます。保存数を超えてバックアップを実行した場合、古いバックアップファイルから削除されます。
3	バックアップファイルを圧縮する	バックアップファイル出力時にバックアップファイルの圧縮を行いファイルサイズの軽減を行えます。
4	バックアップファイルの退避	バックアップファイルの出力先とは別にバックアップファイルを指定の場所にコピーできます。USBメモリ等の別媒体を指定することでバックアップファイルの退避が行えます。
5	過去のバックアップログ保存期間	過去のバックアップログの保存期間を指定できます。

## 《 通知メッセージ 》

Oracleバージョン: Oracle9i

基本設定 通知メッセージ その他

1  Topメニューの左下にバックアップ状況を表示する

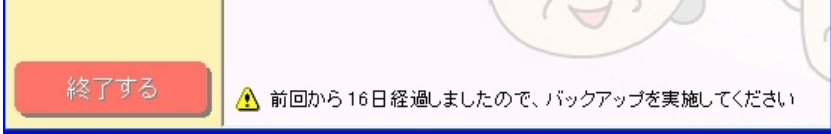
対象者:

すべての職員対象  バックアップ担当の職員のみ対象

2

3 前回バックアップ実施から 15 日が経過した場合、警告を表示する  
(1~999)  
※未入力の場合は警告を表示しません。

保存 閉じる

NO	項目名	説明
1	Topメニューの左下にバックアップ状況を表示する	Topメニューの左下にバックアップ状況を表示するかどうか指定ができます。 
2	対象者	バックアップ状況を表示する対象者を選択できます。 ※バックアップ担当職員の指定は以下のメニューにて行なえます。 [メニュー]: 基本情報->事業者->職員->(対象職員を編集)->その他
3	前回バックアップ実施から～日が経過した場合、警告を表示する	前回バックアップから何日後にバックアップ実施の警告メッセージを表示させるか指定することができます。

## 《その他》

Oracleバージョン: Oracle9i

基本設定 通知メッセージ その他

当画面の設定内容は通常変更する必要はありません。 保護解除 既定値

使用ツール:  
C:\oracle\ora92\bin\exp.exe 参照

パラメータ指定  
FILE=[DMP] LOG=[LOG] COMPRESS STATISTICS

設定の必要はありません

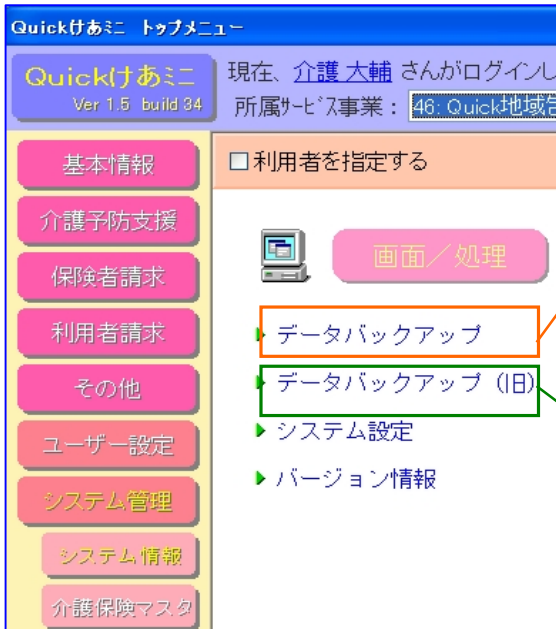
※OWNER指定によるバックアップは、OWNERの指定 (FULL=Y)は実行時に削除されます。

バックアップ正常終了時のメッセージ:  
エクスポートは警告なしで正常終了しました。

保存 閉じる

### 【補足①:データバックアップ(旧)の取扱いについて】

従来のデータバックアップ画面から新しいデータバックアップ画面への円滑な移行を行う為、当バージョンでは従来のデータバックアップ画面も残しておりますが、将来、従来のデータバックアップ画面は削除いたしますので、よろしければ早めに新しいデータバックアップ画面への移行をお願い致します。



▲データバックアップ  
新しいデータバックアップ画面になります。

▲新データバックアップ(旧)  
従来のデータバックアップ画面になります。

### 【補足②:バックアップサービスの状態について】

定期自動バックアップを行う場合は、バックアップサービスが開始状態にしておく必要があります。ただし、開始状態にしておくパソコンに若干の負荷がかかる為、定期自動バックアップを行わない場合はバックアップサービスを停止して頂くこともできます。



※「 Windows Vista 」および「 Windows7 」では表示されません。